

2023年5月31日作成

Ver.2

Deep learning を用いた MRI による女性骨盤臓器評価の有用性についての調査研究**1、研究の目的と意義*****背景**

Deep learning (DL, 深層学習) は、近年、様々な医療研究に用いられています。低解像度画像と高解像度画像の差分を学習させることで、通常の画像にこの差分を追加し、画質を向上させることが可能であり、MRI への応用も報告されています。この方法を用いた MRI 検査は当院のこれまでの通常診療でも行われてきました。

***目的**

この研究の目的は、女性の骨盤臓器における DL を用いた MRI の有用性を評価することです。

***意義**

上記の研究目的を達成することにより、より病気を詳細に評価することができ、治療方針の決定や治療効果の判定に貢献すると考えられます。

2、対象となる患者さん

対象となる患者さんは、2022年9月1日から2023年3月31日の間に DL を用いたものと用いない両方の骨盤 MRI を受けられた 20 歳以上の女性の患者さんです。

3、研究の方法

上記の患者さんの骨盤内の臓器（具体的には子宮と卵巣）と病気について、DL を用いた MRI と DL を用いない MRI の画質を比較します。DL を用いた画像と用いない画像は 1 回の MRI 検査で撮像できます。研究全体として 50 名の患者さんの検査情報収集を予定しています。

4、研究に用いる情報

対象となる患者さんのカルテなどの診療情報から、年齢や病気を調べます。患者さんの骨盤内の臓器（具体的には子宮と卵巣）と病気について、DL を用いた MRI と DL を用いない MRI の画質を比較します。

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2024年6月30日

6、外部への情報の提供

該当なし

7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院 放射線科 小池玄文

8.お問い合わせ先

長崎大学病院 放射線科 小池玄文

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7355 FAX 095（819）7357

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）